



株式会社高橋商店



主力商品 産業用燃料の配送

- 本社所在地：東京都大田区
- 事業概要：石油製品販売及び不動産賃貸業
- 常時使用する従業員：87名
(グループ全体・2026年4月時点)
- 現在の売上高：63億円
(グループ全体・2026年4月期)
- 法人番号：3010801006984
- Web：https://www.takahashi-group.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
高橋 成紀

エネルギーを通じて安心と新たな価値を届け、地域・社会とともに持続的に成長します。

当社グループが100億円企業を目指す目的は、単に売上規模を拡大することではありません。経営基盤を強化し、より多くのお客様に安全・安心なサービスを提供するとともに、地域社会への安定供給、災害時の対応力、地域雇用への貢献を高めるためです。既存事業の強化、DXによる生産性向上、新規事業への挑戦、M&A等を通じて持続的な成長を実現し、その成果を人材育成、賃金や福利厚生の向上、働きやすい職場環境の整備へ積極的に還元します。社員一人ひとりが誇りと将来への希望を持ち、学び、挑戦できる会社をつくり、顧客、地域社会、社員とともに発展する100億円企業を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2030年の売上高達成に向け、M&Aを成長戦略の中心に据える。
年率2%の成長を目指し、その後も相乗効果が見込める企業のM&Aを進める



課題

- ・優良なM&A案件の継続的な発掘
- ・買収資金及び運転資金の確保
- ・財務健全性と返済余力の維持
- ・買収先の人材定着と円滑な事業統合
- ・グループ全体の収益性及び経営管理体制の強化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

直近に首都圏の石油販売会社をグループ化し、グループ売上高を約93億円へ拡大する。その後は、各社が有する顧客基盤、配送車両、人材、供給拠点及び営業情報を共有し、相互営業、配送エリアの拡大、取扱商品の拡充及び新規顧客の開拓を進める。
また、共同仕入れによる価格競争力の強化、車両・人員の相互活用による受注力の向上、管理業務とシステムの共通化を推進する。これらのグループシナジーにより年率約2%の売上成長を実現し、2030年にグループ売上高100億円を達成する。

実施体制

- ・代表取締役を中心としたグループ経営体制
- ・各社の営業、仕入れ、配送、財務及び人事情報の共有
- ・金融機関、M&A仲介会社、税理士、会計士及び弁護士等の活用
- ・M&A案件の発掘、企業評価、調査及び資金調達の推進
- ・グループ本部機能及び買収後の経営統合体制の強化
- ・各社の業績、資金繰り及び収益性の一元管理
- ・仕入れ、営業、配送、人材、車両及びシステムの相互活用
- ・次世代経営人材の育成と財務健全性の維持

売上高100億円実現に向けたグループ成長の歩みと今後の展望

高橋グループは、株式会社高橋商店を中核に、高橋商事株式会社、株式会社邦友、株式会社伸和石油で構成されている。東京都、埼玉県、神奈川県を中心に、石油製品の販売・配送、サービスステーション運営及び不動産賃貸事業を展開している。当社は、事業承継を目的としたM&Aを継続的に実施しており、2018年に小高石油を買収し、2023年に株式会社高橋商店へ吸収合併した。現在も埼玉営業所として事業を継続し、顧客、雇用及び地域の燃料供給体制を引き継いでいる。また、株式会社伸和石油についても、M&Aによりグループ化した。建設、運輸、製造、医療・福祉、農業、公共施設等の幅広い顧客に燃料を供給するとともに、災害時には非常用発電設備等への緊急配送を担っている。グループ各社の顧客基盤、仕入れ、配送車両、人材及び供給拠点を相互に活用し、収益力と燃料の安定供給体制の強化を進めている。国内の石油需要が縮小傾向にある中、既存事業の販売数量増加だけでは大幅な成長が難しいため、今後もM&Aによる事業基盤の拡大を推進する。直近に首都圏の石油販売会社を新たにグループ化し、グループ売上高を約93億円へ拡大した後、グループシナジーによる年率約2%の成長を実現し、2030年に売上高100億円の達成を目指す。

